



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年1月31日

上場会社名 株式会社イエローハット 上場取引所 東
コード番号 9882 URL <https://www.yellowhat.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀江 康生
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 木村 昭夫 (TEL) 03-6866-0163
四半期報告書提出予定日 2024年2月5日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	113,554	0.7	11,966	△7.2	13,190	△3.9	8,976	△3.6
2023年3月期第3四半期	112,816	△0.4	12,901	16.6	13,720	16.2	9,316	15.7

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 10,139百万円(5.1%) 2023年3月期第3四半期 9,648百万円(18.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	194.30	193.55
2023年3月期第3四半期	201.77	200.95

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	142,855	113,916	79.6	2,461.55
2023年3月期	136,442	106,710	78.1	2,306.50

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 113,752百万円 2023年3月期 106,532百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	31.00	—	31.00	62.00
2024年3月期	—	33.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	33.00	66.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	150,000	1.9	15,500	1.6	16,500	1.2	10,700	0.3	231.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	49,923,146株	2023年3月期	49,923,146株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	3,711,132株	2023年3月期	3,735,146株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	46,201,364株	2023年3月期3Q	46,172,978株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、決算発表後速やかに当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①当期の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類に引き下げられたことで行動制限が解除され、経済活動の正常化が進みました。しかしながら一方で、エネルギー価格や原材料価格の上昇、為替相場の変動、これらを要因とした物価上昇など、個人消費マインドを低下させる懸念材料があり、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

当カー用品業界におきましては、旅行や帰省をはじめとしたドライブ需要の回復により、タイヤやオイル、バッテリーなどの消耗品販売が堅調に推移いたしました。しかし、全国的には暖冬となったことにより、スタッドレスタイヤなどの冬季用品の販売は低調となりました。

このような環境下におきまして、当社グループでは、経営戦略方針の一つであるタイヤを中心とした消耗品の拡販や、取付・整備作業やメンテナンスメニューを拡充してまいりました。また、新たな取り組みとして、顧客の利便性及び満足度の向上と新規顧客拡大を目指し、2023年9月より楽天ポイントカードの取扱いを開始いたしました。

なお、店舗展開に関して、好条件な立地への店舗移転や、利益改善のための店舗集約及びグループ内での業態変更を進めるなど、経営資源の効率化に努めました。

当第3四半期連結累計期間におきましては、タイヤやオイル、バッテリーなど消耗品の販売堅調と車検工賃収入の増加等がありました。一方で、コロナ禍で高まっていたバイク関連需要の減少によるバイク用品販売の低調や、暖冬による冬季用品販売の低調等の影響もあり、売上高は1,135億54百万円（前年同期比100.7%、7億37百万円増）、売上総利益は484億36百万円（前年同期比100.4%、1億78百万円増）と前年同期比微増に留まりました。

販売費及び一般管理費は、新規出店等の設備投資に伴う減価償却費の増加や、人件費をはじめとした店舗運営コストの上昇等により、前年同期を上回る364億70百万円（前年同期比103.1%、11億13百万円増）となりました。

その結果、営業利益は119億66百万円（前年同期比92.8%、9億35百万円減）、経常利益は131億90百万円（前年同期比96.1%、5億29百万円減）、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては89億76百万円（前年同期比96.4%、3億39百万円減）となりました。

売上高の主な部門別内訳につきましては、小売部門は708億15百万円（前年同期比101.5%、10億38百万円増）、卸売部門は354億85百万円（前年同期比99.3%、2億68百万円減）となりました。

②当期のセグメント別概況

当第3四半期連結累計期間の事業の種類別セグメント別の概要は次のとおりであります。

＜カー用品・二輪用品等販売事業＞

当第3四半期連結累計期間におけるイエローハット店舗の出退店の状況です。

2023年4月にゆめモール西条店（広島県）、5月にトレッド栃木足利店（栃木県）、トレッド沖縄宜野湾店（沖縄県）、袋井川井店（静岡県）、6月に（新）トレッド山形店（山形県）、9月に中和幹線桜井店（奈良県）、10月に札幌宮の森店（北海道）、（新）大津堅田店（滋賀県）、11月にトレッド愛知小牧店（愛知県）の計9店舗を開店、2023年4月に広島可部店（広島県）、トレッド山形店（山形県）、5月に袋井店（静岡県）、8月に小牧店（愛知県）、9月に八軒店（北海道）、押熊店（奈良県）、網走大曲店（北海道）、大津堅田店（滋賀県）の計8店舗を閉店いたしました。

イエローハット店舗以外では、2023年6月にカワサキプラザ山形（山形県）、カワサキプラザ秋田（秋田県）、8月に久留米2りんかん（福岡県）、バイク館久留米インター店（福岡県）、9月に浜松2りんかん（静岡県）、バイク館浜松有玉店（静岡県）、10月にバイク館三郷上彦名店（埼玉県）、11月にバイク館小牧店（愛知県）の計8店舗を開店いたしました。また、2023年4月に2りんかんイエローハット車検センター座間工場（神奈川県）を開設、9月にイエローハットコイン洗車場八軒（北海道）を閉鎖いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、イエローハット740店舗、2りんかん61店舗、バイク館（カワサキプラザ含む）69店舗の合計870店舗、イエローハット車検センターが8店舗、イエローハットコイン洗車場が12店となりました。

当第3四半期連結累計期間のカー用品・二輪用品等販売事業の売上高は、1,090億92百万円（前年同期比100.7%、7億22百万円増）、セグメント利益につきましては、108億59百万円（前年同期比91.0%、10億77百万円減）となりました。

<賃貸不動産事業>

当第3四半期連結累計期間の賃貸不動産事業の売上高は、44億62百万円（前年同期比100.3%、15百万円増）、セグメント利益につきましては、11億7百万円（前年同期比114.7%、1億42百万円増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、496億26百万円（前連結会計年度末517億79百万円）となり、21億52百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が57億53百万円減少した一方で、棚卸資産が18億82百万円、受取手形及び売掛金が12億33百万円増加したことによります。

また、固定資産の残高は932億28百万円（前連結会計年度末846億63百万円）となり、85億65百万円増加いたしました。これは主に土地が31億90百万円、建物及び構築物（純額）が26億54百万円、投資有価証券が16億44百万円増加したことによります。

この結果、総資産残高は1,428億55百万円（前連結会計年度末1,364億42百万円）となりました。

②負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、238億58百万円（前連結会計年度末246億21百万円）となり、7億63百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が18億74百万円、未払法人税等が7億21百万円減少した一方で、短期借入金が20億円増加したことによります。

また、固定負債の残高は50億81百万円（前連結会計年度末51億9百万円）となり、28百万円減少いたしました。

この結果、負債残高は289億39百万円（前連結会計年度末297億31百万円）となりました。

③純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、1,139億16百万円（前連結会計年度末1,067億10百万円）となり、72億5百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益89億76百万円を計上したこと、その他有価証券評価差額金が11億41百万円増加した一方で、配当金を29億57百万円支払ったことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2023年5月9日に公表いたしました数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,266	2,513
受取手形及び売掛金	10,424	11,658
棚卸資産	25,451	27,333
その他	7,841	8,383
貸倒引当金	△205	△262
流動資産合計	51,779	49,626
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	48,813	52,483
減価償却累計額	△25,922	△26,937
建物及び構築物（純額）	22,891	25,546
土地	37,395	40,585
その他	11,109	13,079
減価償却累計額	△6,821	△7,256
その他（純額）	4,288	5,822
有形固定資産合計	64,575	71,954
無形固定資産		
ソフトウェア	1,024	1,249
その他	477	476
無形固定資産合計	1,501	1,726
投資その他の資産		
投資有価証券	6,294	7,938
敷金	7,532	7,339
その他	5,029	4,546
貸倒引当金	△270	△278
投資その他の資産合計	18,586	19,547
固定資産合計	84,663	93,228
資産合計	136,442	142,855

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,226	9,351
短期借入金	—	2,000
未払法人税等	2,571	1,850
契約負債	1,607	1,277
賞与引当金	1,348	707
その他	7,867	8,671
流動負債合計	24,621	23,858
固定負債		
退職給付に係る負債	93	114
リース債務	96	76
資産除去債務	3,093	3,101
その他	1,826	1,788
固定負債合計	5,109	5,081
負債合計	29,731	28,939
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,072	15,072
資本剰余金	10,471	10,495
利益剰余金	83,466	89,485
自己株式	△2,210	△2,196
株主資本合計	106,799	112,857
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,557	2,699
土地再評価差額金	△1,907	△1,907
為替換算調整勘定	86	106
退職給付に係る調整累計額	△3	△2
その他の包括利益累計額合計	△266	895
新株予約権	170	162
非支配株主持分	7	0
純資産合計	106,710	113,916
負債純資産合計	136,442	142,855

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	112,816	113,554
売上原価	64,558	65,117
売上総利益	48,258	48,436
販売費及び一般管理費	35,356	36,470
営業利益	12,901	11,966
営業外収益		
受取利息	30	27
受取手数料	240	269
持分法による投資利益	64	85
違約金収入	—	212
その他	522	656
営業外収益合計	858	1,250
営業外費用		
支払利息	4	5
その他	35	20
営業外費用合計	39	26
経常利益	13,720	13,190
特別利益		
固定資産売却益	4	6
負ののれん発生益	—	9
退職給付制度終了益	8	—
特別利益合計	13	15
特別損失		
固定資産売却損	2	0
固定資産除却損	8	7
減損損失	43	59
災害による損失	25	—
特別損失合計	80	67
税金等調整前四半期純利益	13,653	13,139
法人税、住民税及び事業税	4,052	4,040
法人税等調整額	282	121
法人税等合計	4,335	4,161
四半期純利益	9,317	8,977
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,316	8,976

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	9,317	8,977
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	318	1,136
退職給付に係る調整額	△17	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	30	26
その他の包括利益合計	330	1,162
四半期包括利益	9,648	10,139
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,646	10,139
非支配株主に係る四半期包括利益	1	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	カー用品・ 二輪用品等 販売事業	賃貸不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	108,369	4,446	112,816	—	112,816
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	108,369	4,446	112,816	—	112,816
セグメント利益	11,936	965	12,901	—	12,901

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	カー用品・ 二輪用品等 販売事業	賃貸不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	109,092	4,462	113,554	—	113,554
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	109,092	4,462	113,554	—	113,554
セグメント利益	10,859	1,107	11,966	—	11,966

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。